

宣伝資料送付件

昭和二十年三月十五日

国立公文書館	
分類	込 青
配架番号	3 A
	15
	51-21

青
51-21



54-219
⑤

球七七一輯第三號

宣傳資料送付ノ件

昭和二十年三月十五日

球第七〇七一部隊長

國士隊本部長殿

情勢、緊迫化ニ伴ヒ一般縣民、戰意ヲ昂揚シ堅忍不拔ノ持久態勢ヲ整ヘル目的ヲ以テ左記事項ニ留意、上別添送付ノ資料ニ基キ一般官民ニ對シ宣傳スベシ

左記事項

一方針

敵機反攻ノ熾烈化ト情勢、緊迫特ニ空襲ノ激化ニ伴フ民心ノ不安動搖ヲ防止シ軍官民母勝ノ信念ヲ昂揚シ現下ノ苦難ニ飽耐忍ビ戰勝ノ一途ニ邁進ス

一、ル 氣 概 の 涵 養 云々

三、實 施 方 法

一、本 部 二 於 テ ハ 機 關 紙、翼 壯 報 道、ヲ 利 用、又 ハ 講

演 會、座 談 會、ニ 於 テ 反 覆 宣 傳 ス

二、支 部 三 於 テ ハ 各 種、集 會、若 ハ 個 々 面 談 時、各 隊 員

ヨリ 反 覆 宣 傳 ス

三、別 添 宣 傳 資 料、各 隊 員、一 部 配 布

三、報 告

本 部、海 員 途、狀 況、各 地 域 別、方 法、宣 傳 人 員、宣 傳

、効 果、シ、三 月 末 日、ニ 報 告、ス、ト

POP

一、米 國 人 的 資 源 缺 乏

(一) 囚 人 ヲ 釋 放 軍 隊 ニ 入 ル

「ワシントン」刑務署セヨ「イオチ」刑務署五〇〇ノ囚人ヲ釋放シ

(二) 人 的 資 源、不 足、ハ 志 氣、ヲ 低 下、セ、シ、ム、ツ、ア、リ

適 時 外 征、將 兵、ノ 交 代、亦、甚 長、ハ、米 國、ニ 於 テ、ハ、最 モ 必 要、ナ、リ、然、ル

ニ、相 續、ク、損 害、ニ、加、フル、ニ、懸 念、ナ、リ、方 且、長、大、ナル、補 給 路、ノ、為、之、ガ、交

代、要、員、得、難、ク、戰、争、ノ、長 期、化、ト、共、一、海、軍、補 給 路、ヲ、破、ル、ニ、シ、テ、

其、ノ、最、大、ノ、モ、ハ、軍 隊、ノ、志 氣、ヲ、低 下、シ、下、シ、不、軍 紀、ニ、陥、リ、殊、ニ

抗 命、暴 行、等、各 種、犯 罪、ヲ、行、フ、事、亦、少、ナ、ク、上、下、一 致、ノ、國 誌、ヲ、破

壞、シ、戦 争、反 動、ト、ナ、リ、戦 力、低 下、ス、ル、ニ、至、ル、ベ、シ

人 的 資 源、及 戦 時 生 産 諸 機 關、ノ、不 足、ニ、對 抗、ス、ル、為、戰 時 動 員 局、ハ

新、ク、規 則、ヲ、設、ケ、勞 力、不 足、ニ、對 抗、ス、ル、方 法、ヲ、考、ヘ、テ、工 場、ノ、從 業 員

數、ヲ 制 限、ス、ル、コ、ト、ニ、ナ、リ、又、工 場、ノ、材 料、及 燃 料、ノ 供 給、ヲ 停 止、ス、ル

レ、ク、又、海 務 本 員 會、ノ 廢 止、ニ、依、テ、一、九、四、五、年、最 初、六、月、日、ニ、於、テ

ル 商 船、ノ 建 造、ハ、現 在、ノ 高 率、生 産、ハ、半、ク、以、テ、行、ハ、ル、ト

二、出 血 作 戦

(一) 出 血 戦、コ、ソ、敵 米 國、ニ 對 ス、ル、最 モ 効 果、且 痛 烈、ナル 戰 法、ナ、リ、即、チ、前 大

戰、ニ 於 テ、僅、ニ、二、十、萬、ノ、米 國 兵、ノ、死 傷、ニ、依、リ、擊 破、ヲ、呈、シ、ケ、ル、米

國 民、ニ 對 シ、今、ヤ、呂 宋 戰、ノ 開 始、ト、共、二、愈、々、活 潑、大、ナル、出 血、ニ、直 面、シ

テ、彼 等、ニ、對、シ、東 亞、ノ 侵 入、ガ、如、何、ニ、高 價、ナル、血、代 價、ヲ 要 求、ス、ル、所、ナ

ル、カ、ヲ、知、ラ、シ、メ、ザ、ル、ハ、カ、ナ、ス、之、ガ、為、メ、敵、ノ、局 部 的 進 出、ニ、對 抗、ス、ル、コ

ト、ナ、リ、一、戦、ヲ、以、テ、是、レ、ヲ、一、戰、ト、シ、テ、共、ニ、一、千、ノ、兵 員、ヲ、擧、ゲ、テ、特 殊 隊、

ニ、編 成、シ、テ、取、リ、進 出、ヲ、拒 絶、シ、國 民 的 決 意、コ、ソ、世 要、ナ、リ

(二) 米 國、ノ 人 口、ハ、昨 年、七、月、日、ニ、於 テ、一、億、三、千、八、百、萬、餘、ニ、達、シ、中、十、五、歳、ヨリ

六、十、四、歳、迄、ノ 稼 働 人 口、ハ、約、九、千、四、百、萬、更、ニ、病 或、ハ、家 庭 健 康 者、等

DUP

一、米國人的資源缺乏

(一) 囚人ヲ釋放軍隊ニ入ル

「ワダクソン」刑務署七〇〇人がオチ刑務署五〇〇囚人ヲ釋放シ
軍隊ノ不足ヲ補フ(桑港三月十九日放送)

(二) 人的資源ノ不足ハ志氣ヲ低下セシメツアリ

適時外征ノ特兵ノ交代、休養ハ米國ニ於テハ最モ必要ナリ然ル
ニ相續ク損害ニ加フルニ懸念有テ萬里長大ナル補給路ノ為ニ之ガ交

代要員得難ク戦陣ノ長期化ト共ニ漸次糧根ヲ濼シマリ殊ニ
其ノ最モハ軍務ノ志氣ヲ挫ク下シ不軍紀ニ墮リ

抗命暴行等各種犯罪ヲ誘成レ遂ニ上下一致ノ團結ヲ破

壞シ厭戰反戦トナリ戦力低下スルニ至ルベシ

(三) 人的資源及戰時生産諸材料ノ決定ニ對シテハ戰時勤員局ハ
新クニ規則ヲ設テ努力ヲ不定ニ對シテ地方ニ於ケル工場ノ從業

員數ヲ制限スルコトニナリ 遂ニ又對シテハ原料及燃料ノ供給
ヲ停止スル尚民間採用自勤員局ノ下ニ於ケル製造ハ二百萬本削減サ

レタ又海務委員會ノ發表ニ依リバ一九四五年最初六ヶ月ニ於ケ

ル商船ノ建造ハ現在ノ高率生産水準ヲ以テ行ハルト

二、出血作戦

(一) 出血戦コソ敵米國ニ對スル最モ効果且痛烈ナル戦法ナリ 即チ前大

戦ニ於テ僅ニ三十萬ノ米國兵ノ死傷ニ依リ擊擾ヲ呈シテ米

國民ニ對シテ今日ヨリ宋宋戦ノ開始ト共ニ愈々活潑ナル出血作戦

戦ヲ行ハルベシトシテ東亞ハ侵入ガ如何ニ高價ナル血代價ヲ要求スル所ナ

リトナリ 戦時生産諸材料ノ決定ニ對シテハ戰時勤員局ハ新クニ規則ヲ

設テ努力ヲ不定ニ對シテ地方ニ於ケル工場ノ從業員數ヲ制限スルコトニナリ

遂ニ又對シテハ原料及燃料ノ供給ヲ停止スル尚民間採用自勤員局ノ下ニ

於ケル製造ハ二百萬本削減サレタ又海務委員會ノ發表ニ依リバ一九四五

年最初六ヶ月ニ於ケル商船ノ建造ハ現在ノ高率生産水準ヲ以テ行ハルト

(二) 米國人口ハ昨年七月ニ於テ一億三千八百萬有リテ此中十五歳ヨリ

六十四歳迄ノ稼働人口ハ約九千四百萬有リテ此中十四歳以下ノ者ヲ

實際ノ上働カセ得ル者ヲ除カバ正味戰時ニ出動シ得ル人口ハ約六

千五百萬ト推定セラルル中ヨリ既ニ昨年十月現在五千二百三

十萬(内合女子一千六百萬)ヨリ陸軍ニ動員レ又一千五百三萬壯丁

ヲ軍ニ召集ス斯クテ空軍陸軍海軍兩部門ヲ通ジテ動員員餘カハ男女

合シテ百萬有ナリ

(三) 一方去ル一月八日、陸軍長官「マチソン」言明ニ依リバ一千二百三十萬ノ壯

丁中ヨリ開戦以來ノ米軍ノ損害ハ陸軍六十七萬九千七百九十名

海軍八萬七千七百八十八名計七十六萬四千五百八十四名ト出テ軍動

員數ニ對シテ大ナル大穴ヲマケタリトシテ又此間ノ戦行方不明其他ヲ除外シ

戦死ハ死体ヲ確認サレタモノニ對シテハ戦行方不明其他ヲ除外シ

極メテ内輪ノ発表ニシテ實際戰死ハ送カニ多數ニ上リアルモノト判

断セリル

(四) 特ニ物量ノ乏シク或程度迄生存ノ安全ガ保證ノ見込アル限リニ於

テ米國兵ハ相當ニ強キモノニテ物量ノ乏シク割奪シテ肌ニ刀ヲ擡ス

ルトキ意外ノ脆サヲ示ス國民性ナルコトハ火ヲ見ルヨリモ明ナリ

三、ラバウルハ敵國「一億」最先類「ラバウル」同胞

本エトノ補給路ガ断タレテ既ニ半年餘南モ時日ノ経過ト共ニ「ラバウル」

ハドツカリ根ヲ下シタ精強ナク萬將兵一人十殺ノ勢ヲ見タリ開戦

ト候ツアルヲ時ハ決戦態勢トシテ度戰勇ノ聲ヲ聞キ見シガ長大

ナ敵補給路ノ背後ニ對スル重大ナク脅威カラ一步ヲ進メ「ラバウル」

モソ太平洋ニ於ケル戰勝的地位ト相俟ツテ終ニ六敵ノ死命ヲ制

DUP

ヒズニ置カナイト些ニ戦況ヲ悲観セザルノミカ益々盛ナリタル必勝ノ信
念ヲ堅持シテテ兵ノ意ヲ奮ト望ミ不敵ノ祖國ニ行ヨス
大平洋ノ騎波ヲ眺ミテ今皇敵一途ノ進軍ヲシツツアル一億國民衆中
望土防衛ノ先驅タル此處南西諸島民ノ強ク鉅感スベキトコロデア
ルコトハバハル。部隊長ノ力ヲ盡シテ全ク補給途断タレ撤
却ナル敵ノ宣傳ヲ絶シテ戦ヒテクク自皇軍ノ真意ヲ發揮
シアルコトハバハル。同胞ノ勸告ヲ忍バツ

「敵軍減ノ端緒ヲコバハル」ヨリ聞ク。同入モ民族ノ興隆ノ眼目ニ誠線ヲ
一般トシテ添サト強サヲ知ヘ真ノ光輝ヲ放ルル我々ノ當面シテイル
今日ノ苦難コソ皇國ノ存亡ニ生カス。要素デアアルコトハバハル
今日ノ大戦態勢ハ如何ニシテ出サレタカ。敵ノ猛烈ノ衝撃ナル銃爆
撃ニ暴サレテ食糧住ハハレヨリ有ル困窮ノ甚ク思ヒ難ク
傷ト病應ヲ克服シテ年々ニ進軍ヲ敢闘又敢闘ヲ續ケテ將兵
ノ血ト汗ノ結晶ニ外ナラナイ近代ハ補給路デアアルト言ハレルが其方
式ハ少クトモコバハルニ限ル。正サレバハナク大望不逞
ノ決意ハ独リ「コバハル」ニ限ラレタオハナク全戦線デ自皇國ソノモ
ノ姿デアラフ。吾々ハ此ノ様ニ戦況ニ悲観スルニハ及バナイ。コバハルカ
ナル島以テ敵ノ所謂飛石作戦ハニシテモ、サイパンヲ終テ今又比島
否皇土ノ門闕ヲ黃島ニ及ンデイル。然レヨク見ルト北太平洋ノ
廣イ正面ノ中敵ニトラレタ島ハ微々タルモデアアル。コバハルトノ一角ニ
アロモシ部島ヲ將又コバハルニシテハ、今我軍が最盛タル地歩ヲ占
テイル。戦況一度轉換シテ戦局ノ主動性が我ニ移ランカ之等ノ要點ハ
其ノ間ニ在スル敵軍地ニ覆ヒカレバ、我軍ノ歴史ガ回轉スル様ニ我軍
ノ戦況ヲ物量ヲ多クシテ、一萬口及ア長蛇ヲ補給路ヲ多クシテ、

我軍ノ戦況ハ如何ナル試練モ苦難モ固ヨリ期シテ、蹴然起テ上ツタ
デハナイカ
アノ架橋 アノ架橋 ニソ決戦へ通スル道デアリ日本民族ノ衰ヲ
イ道デアアル
攻メ切り殺シテ一人ナク「コバハル」ヨリ敵軍滅ニ端緒ヲ作ルハデアルト

